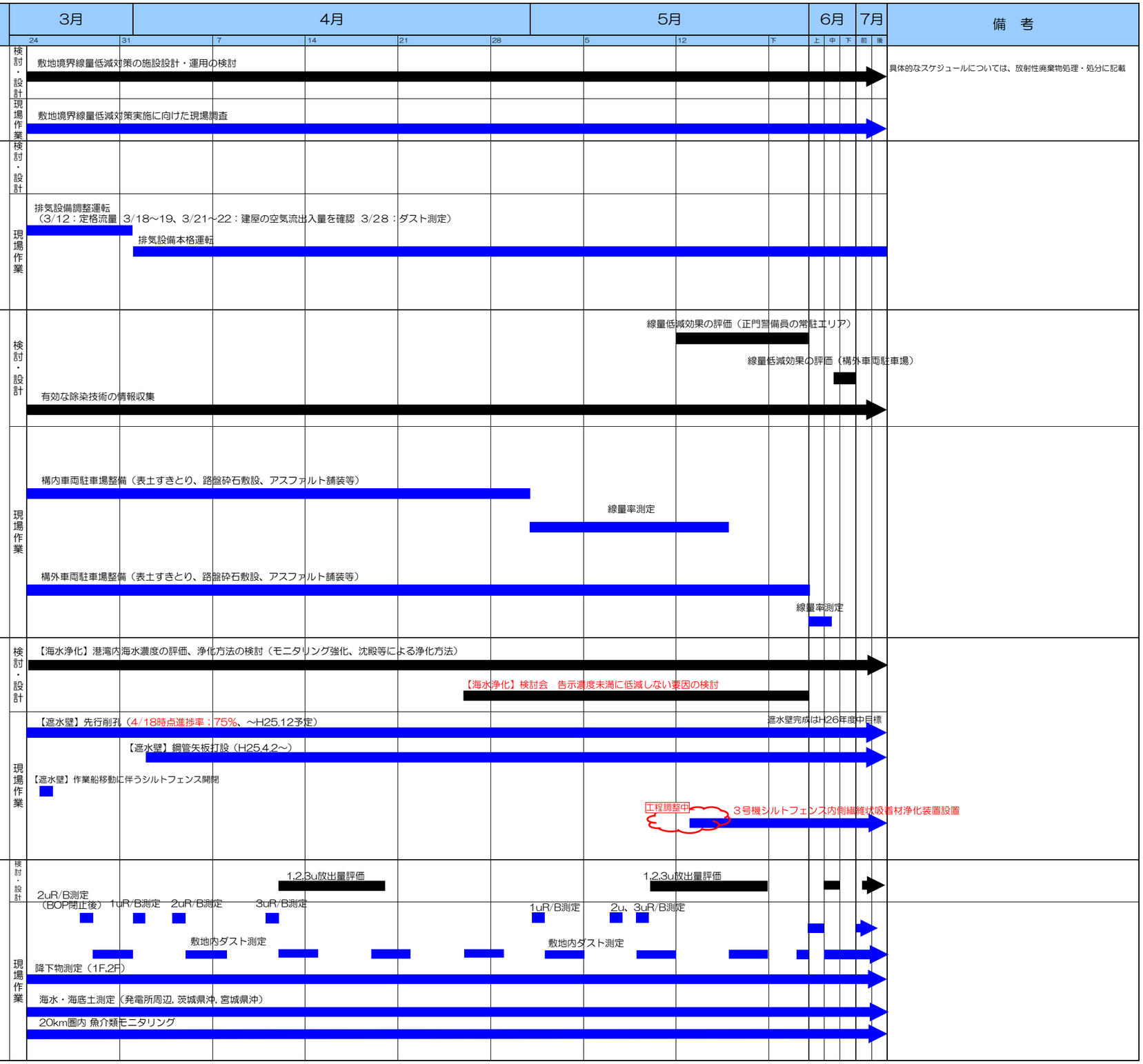
東京電力株式会社
環境線量低減対策
2013/4/25現在

環境線量低減対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで一ヶ月の動きと今後一ヶ月の予定		備　考
環境線量低減対策	放射線量低減	1．敷地境界線量低減 ・低減対策の検討	（実　績） ・敷地境界線量低減対策実施に向けた現場調査 ・３月末に敷地境界1mSv/年達成状況確認 （予　定） ・敷地境界線量低減対策実施に向けた現場調査	検討・設計：敷地境界線量低減対策の施設設計・運用の検討 現場作業：敷地境界線量低減対策実施に向けた現場調査	具体的なスケジュールについては、放射性廃棄物処理・処分に記載
			２号機原子炉建屋ブローアウトパネル開口部閉止・換気設備設置 （実　績） ・換気設備調整運転 ・排気設備の定格流量確認（3/12） ・建屋の空気流出量の確認（3/18～19，3/21～22） ・ダスト測定（3/28） ・換気設備本格運転（4/1） （予　定）	検討・設計： 現場作業：排気設備調整運転（3/12：定格流量 3/18～19、3/21～22：建屋の空気流出入量を確認 3/28：ダスト測定） 排気設備本格運転	
		2．敷地内除染 ・段階的な除染	（実　績） ・正門警備員の常駐エリア線量低減作業 及び 構内車両駐車場整備（12/10～） （予　定） ・正門警備員の常駐エリア線量低減作業 及び 構内車両駐車場整備（12/10～） ・有効な除染技術の情報収集 （構外除染の除染技術や国内外の新しい除染技術について情報を収集） ※正門警備員の常駐エリア線量低減作業については，構内車両駐車場整備が終了後，線量率を測定し，正門警備員の常駐エリアの線量低減効果を評価する。	検討・設計：線量低減効果の評価（正門警備員の常駐エリア） 線量低減効果の評価（構外車両駐車場） 有効な除染技術の情報収集 現場作業：構内車両駐車場整備（表土すきとり、路盤砕石敷設、アスファルト舗装等） 線量率測定 構外車両駐車場整備（表土すきとり、路盤砕石敷設、アスファルト舗装等） 線量率測定	
	汚染拡大防止	3．海洋汚染拡大防止 ・遮水壁の構築 ・繊維状吸着材浄化装置の設置 ・浚渫土の被覆 ・浄化方法の検討	（実　績） 【遮水壁】鋼管矢板打設部の岩盤の先行削孔 （4/18時点進捗率：75%） 鋼管矢板打設（H25.4.2～） 【海水浄化】港湾内海水濃度の評価、浄化方法の検討 浄化装置の継続運転を実施（H23.6.13～H25.3.22） （予　定） 【遮水壁】鋼管矢板打設部の岩盤の先行削孔（～H25.12予定） 鋼管矢板打設（継続） 【海水浄化】港湾内海水濃度の評価、浄化方法の検討 ３号機シルトフェンス内側繊維状吸着材浄化装置設置予定（H25.5中旬） 海水中放射性物質濃度低減のための検討会設置（4/26～）	検討・設計：【海水浄化】港湾内海水濃度の評価、浄化方法の検討（モニタリング強化、沈殿等による浄化方法） 【海水浄化】検討会　告示濃度未満に低減しない要因の検討 現場作業：【遮水壁】先行削孔（4/18時点進捗率：75%、～H25.12予定） 遮水壁完成はH26年度中目標 【遮水壁】鋼管矢板打設（H25.4.2～） 【遮水壁】作業船移動に伴うシルトフェンス開閉 工程調整中 ３号機シルトフェンス内側繊維状吸着材浄化装置設置	
環境線量低減対策	評価	4．環境影響評価 ・モニタリング ・傾向把握、効果評価	（実　績） ・1～3号機原子炉建屋上部ダスト濃度測定、放出量評価 ・敷地内におけるダスト濃度測定（毎週） ・降下物測定（月１回） ・発電所近傍、沿岸海域モニタリング（毎日～月1回） ・20km圏内 魚介類モニタリング（月1回 11点） ・茨城県沖における海水採取（毎月） ・宮城県沖における海水採取（隔週） （予　定） ・1～3号機原子炉建屋上部ダスト濃度測定、放出量評価 ・敷地内におけるダスト濃度測定（毎週） ・降下物測定（月１回） ・発電所近傍、沿岸海域モニタリング（毎日～月1回） ・20km圏内 魚介類モニタリング（月1回 11点） ・茨城県沖における海水採取（毎月） ・宮城県沖における海水採取（隔週）	検討・設計：1,2,3u放出量評価 1,2,3u放出量評価 現場作業：2uR/B測定（BOP閉止後） 1uR/B測定 2uR/B測定 3uR/B測定 1uR/B測定 2u、3uR/B測定 敷地内ダスト測定 敷地内ダスト測定 降下物測定（1F,2F） 海水・海底土測定（発電所周辺, 茨城県沖, 宮城県沖） 20km圏内 魚介類モニタリング